

第3次おかやま夢づくりプラン(仮称)

骨子



平成23年7月15日

岡山県

目次

第1章 基本的な考え方	1
1 県政の基本目標	1
2 基本目標の実現に向けて	1
3 プランの性格等	1
第2章 岡山の将来像(長期構想)	2
1 時代の潮流と課題	2
2 岡山の発展可能性	2
3 2020年頃の目指すべき岡山の姿	3
第3章 行動計画(中期5カ年計画)	4
1 基本方針	4
2 行動計画の内容	6
戦略プログラムの概要	8
中四国州推進プロジェクトの概要	18
基本戦略横断プロジェクトの概要	18
第4章 プランの進め方	20
1 対話の県政・開かれた県政の推進	20
2 スピーディーに考え行動する真の政策県庁	20
3 政策評価等によるPDCAサイクルの確立	20

第1章 基本的な考え方

1 県政の基本目標

「快適生活県おかやま」の実現を永続的な県政の基本目標とする。

2 基本目標の実現に向けて

(1) 自立と協働

分権型社会の基本原則である「自己決定・自己責任」と、地方と国との「対等・協力」関係を踏まえ、「自立」した個性と魅力にあふれる豊かな地域づくりに取り組む。

また、県と市町村はもとより、県民、ボランティア・NPO、企業、大学など多様な主体と行政とが、目標を共有し、その目標に向かって、「協働」しながら、活力ある地域づくりに取り組んでいく。

(2) 創造と改革

県民の幸せの実現を目指して、夢と希望あふれる元気な地域の創造を自主的、主体的に進めていくために、地方分権改革や行財政改革などに取り組む。

3 プランの性格等

プランの性格及び期間は、次のとおり、長期構想と中期的な行動計画の二つの性格を併せ持つものとする。

(1) 長期構想

- ・将来目指すべき岡山の姿を明らかにする長期的な構想
- ・2020年頃を展望

(2) 行動計画

- ・長期構想の実現に向けて今後5カ年間に重点的に取り組む基本戦略や施策を盛り込んだ中期的な行動計画
- ・平成24年度（2012年度）～平成28年度（2016年度）の5カ年間

第2章 岡山の将来像（長期構想）

1 時代の潮流と課題

(1) 社会経済構造の変化

- ・人口減少・超高齢社会の到来
- ・グローバル化の進展と我が国の国際競争力の相対的低下
- ・東日本大震災による産業構造等の変化

(2) 安全・安心の重要性

- ・東日本大震災の教訓による防災意識の高まりや絆の再認識
- ・犯罪・事故のない安全・安心な暮らしへの要請の高まり
- ・地球規模の環境問題への対応の必要性

(3) 潤いのある生活の重視

- ・生活の質を重視し心の豊かさを求めるニーズの高まり
- ・「新しい公共」の活動の広がり

(4) 地方分権の進展と県の役割の変化

- ・地方分権改革の進展
- ・岡山市の政令市移行等による県の役割の変化
- ・広域的な防災体制など広域行政への動き

2 岡山の発展可能性

- ・陸海空の広域高速交通網の結節点
- ・温暖な気候と自然環境に恵まれた「晴れの国」
- ・ものづくりをはじめとした優れた産業集積
- ・全国に誇る高品質の農林水産物
- ・優れた教育環境と豊かな伝統文化
- ・高い医療水準と充実した医療環境
- ・福祉の伝統と地域活動等の先進性
- ・先進的なIT基盤を活用したユビキタスネットワーク
- ・新エネルギー分野での先進的な取組
- ・企業活動に最適な「安全性」と「安定性」

3 2020年頃の目指すべき岡山の姿

(1) 安全で安心な活力ある地域で人々の心が通う「いきいき岡山」

支え合いを通じた健やかで豊かな暮らしの中、安全で安心な活力ある地域で、人々の心が通う「いきいき岡山」

- ・安全・安心で健やかなコミュニティ
- ・みんなが主役となる参画社会
- ・次代を担う若者が住み続ける地域
- ・豊かさを実感できる便利で活力ある地域

(2) 中四国の拠点としてグローバルに発展する「きらめき岡山」

国内はもとよりアジアや世界との結びつきを強め、先進性を生かし中四国の拠点として、グローバルに発展する「きらめき岡山」

- ・国内外に確立した「岡山ブランド」
- ・人々が集い交流がひろがる場
- ・先進性を生かして世界で活躍

(3) 世界とつながり自立した「中四国州」

真に自立した分権型社会を確立し、地方分権の究極の姿と言える道州制の導入及び中四国州の実現

第3章 行動計画（中期5カ年計画）

1 基本方針

(1) 5カ年の行動目標

2020年頃の「目指すべき岡山の姿」を展望しながら、時代の潮流、東日本大震災の教訓、県民ニーズの変化等を的確に捉えた**選択と集中による政策の大胆な重点化**と、地方分権時代にふさわしい**岡山らしさあふれる先進的な政策（岡山モデル）の展開**を図り、**持続的に発展するとともに、県民が安全・安心な地域で夢を持ち満足して暮らし続けることができる「暮らしやすさ日本一」の岡山**を目指す。

(2) 社会経済構造の変化への対応

人口減少・超高齢社会においては生産年齢人口の減少、国内市場の縮小等が予想される一方、新たな市場として、海外、特にアジアへの企業進出が進むなど経済のグローバル化が急速に進展している。また、東日本大震災の教訓から、我が国の社会経済構造は大幅に変化すると見込まれる。

このような時代の潮流を捉え、

- ①目覚ましく成長するアジア経済を主なターゲットとする産業のグローバル化の推進
- ②耐震化など、県民の命を守るために必要で経済効果も期待できる分野への公共投資の推進（セーフティ・ニューディール）
- ③企業のリスク分散の動きや新エネルギー市場の大幅な拡大など、産業構造の変化を見据えた企業誘致や新産業の創出
- ④グローバル化など時代の要請に対応できる人材の育成と将来を担う子どもを優先する視点の導入

など、**本県の持続的な発展につながる政策を重点的に展開する。**

(3) 県民ニーズ等の変化への対応

人口減少・超高齢社会の到来、東日本大震災の影響等によって、生活の質の重視など、県民の価値観やニーズには大きな変化が見られる。

これらの変化を踏まえ、

- ①地震や津波をはじめとする防災意識の高まり
- ②命の尊さや人と人との絆を大切にする考えの広がり
- ③文化、スポーツなど暮らしの潤いへのニーズの高まり

④省エネ意識の高まりなどライフスタイルの変化

⑤アスリートやアーティストの活躍等がもたらす夢や感動と本県への愛着心などの県民の意識や感性を重視する政策を展開する。

(4) わかりやすい県政の推進

プランにおける戦略プログラムの名称の工夫、基本戦略の成果を反映できる象徴的な指標の設定や県民満足度調査の実施等を行い、5年間に県が具体的に何をしようとしているのかというメッセージとその成果を県民に明確に伝えるなど、わかりやすい県政を推進する。

2 行動計画の内容

(1) 行動計画の構成

行動計画には、「安全・安心な地域づくり」など4つの「基本戦略」を掲げ、その下にそれぞれ複数の「戦略プログラム」を置くとともに、「中四国州推進プロジェクト」と基本戦略を横断する重要な政策課題に対応するための3つの「基本戦略横断プロジェクト」を掲げる。

(2) 基本戦略の推進方向と戦略プログラム

基本戦略Ⅰ 安全・安心な地域づくり

<推進方向>

「安全・安心」は人々の生活の基本であり、すべての県民の願いである。災害から命を守り、犯罪や事故がなく、安心して生活や子育てができる地域づくりを進める。

<戦略プログラム>

- 1 県民の命を守る防災・減災プログラム
- 2 犯罪や事故のない社会実現プログラム
- 3 誰もが安心！子育て応援プログラム
- 4 良質で先進的な保健・医療・福祉サービス提供プログラム
- 5 安全で安心な県民生活確保プログラム

基本戦略Ⅱ 将来を担う人づくり

<推進方向>

将来の岡山の発展を担うのは「人」である。「人づくり」に積極的に取り組み、地域社会を担い、これからの岡山を支えていく人材を育てる。

<戦略プログラム>

- 1 学校・家庭・地域の連携による教育推進プログラム
- 2 世界にはばたけ！グローバル人材育成・誘致プログラム
- 3 支え合いの心あふれる社会実現プログラム
- 4 地域を支えリードする担い手育成プログラム

基本戦略Ⅲ 発展につながる産業づくり

〈推進方向〉

岡山の持続的な発展の原動力は、産業の活性化である。アジア経済の成長等の時代の潮流を踏まえ、活発な経済活動の促進や競争力の強化など、力強い産業の育成を進める。

〈戦略プログラム〉

- 1 アジアへ！世界へ！産業グローバル戦略推進プログラム
- 2 ものづくり産業イノベーション推進プログラム
- 3 成長につながる企業の誘致・集積プログラム
- 4 地域産業パワーアップ・新ビジネス育成プログラム
- 5 「おもてなし岡山」魅力発信・誘客プログラム
- 6 ^{もう}儲かる産業に！攻めの農林水産業育成プログラム

基本戦略Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり

〈推進方向〉

価値観が変化する中、心豊かなライフスタイルへの転換が求められている。文化、スポーツなどを楽しむ環境づくりをはじめ、県民の生活の質を高める取組を進める。

〈戦略プログラム〉

- 1 文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム
- 2 地球と人にやさしい岡山流スマートライフ発信プログラム
- 3 未来につなぐ！自然と景観の保全プログラム
- 4 誰もがいきいき働き活躍できる社会実現プログラム

(3) 中四国州推進プロジェクト

(4) 基本戦略横断プロジェクト

- 1 元気！輝く中山間地域活性化プロジェクト
- 2 「晴れの国」発！新エネルギー拡大プロジェクト
- 3 胸を張ってPR！岡山まるごと情報発信プロジェクト

◇ 戦略プログラムの概要

基本戦略Ⅰ 安全・安心な地域づくり

1 県民の命を守る防災・減災プログラム

<概要>

地震や津波等の災害から人命を守ることを最優先に、避難対策や防災危機管理体制を強化するとともに、防災・減災のための施設整備、公共施設等の耐震化、液状化対策、広域的な救援体制の整備などを進める。また、防災に関する正しい知識の普及等を推進するとともに、自主防災組織の育成など地域防災力の強化を図る。

<主な施策例>

- 東海・東南海・南海地震等に備えた防災・減災対策の推進
- 「命を守る」津波避難対策の推進
- セーフティ・ニューディール^{*}の推進（耐震化、防災拠点施設等の整備促進）
- 災害時に要援護者を支える体制づくり
- 子どもたちの防災教育の推進

※セーフティ・ニューディール：耐震化など、県民の命を守るために必要で経済効果も期待できる分野への公共投資

2 犯罪や事故のない社会実現プログラム

<概要>

市町村、事業者、地域住民、ボランティア等と協働して、県民総参加による犯罪抑止対策や事故防止対策を推進するとともに、県民が不安を感じる犯罪の徹底検挙、暴力団の壊滅、少年非行対策等を推進し、犯罪や事故のない社会を実現する。

<主な施策例>

- 防犯ネットワークの構築による犯罪抑止対策の推進
- 地域社会の連帯感や絆の強化
- 重要犯罪等の徹底検挙
- 暴力団員の徹底検挙と暴力団排除対策の推進
- 高齢者を重点とした交通安全対策の推進

3 誰もが安心！子育て応援プログラム

<概要>

「子育て支援は岡山の未来づくり」の基本理念の下、子どもの幸せの視点に立って、家庭や地域、学校、企業、関係団体など、さまざまな主体と密接に協働しながら、医療、保育の充実や相談体制の整備などを通じて、誰もが安心して子育てができる環境を整備する。

<主な施策例>

- 地域ぐるみの子育て支援の推進
- きめ細かな保育の拡充
- 県民みんなで子育てをする気運の醸成

4 良質で先進的な保健・医療・福祉サービス提供プログラム

<概要>

医療・介護従事者の育成と確保を進めるとともに、大学や企業とも連携しながら、全国トップクラスの医療水準や、ICT、先端技術等を活用し、県民誰もが、いつでも、どこでも、良質で先進的な保健・医療・福祉サービスを受けられ、住み慣れた地域で自立して暮らせる社会を実現する。

<主な施策例>

- 地域医療を支える医療従事者の育成・確保
- 地域における医療提供体制の整備
- 障害のある人の地域生活の支援
- 質の高い高齢者サービスの提供
- 新健康おかやま21（仮称）の推進

5 安全で安心な県民生活確保プログラム

〈概 要〉

強毒型の新型インフルエンザ等の感染症、食の安全、危険な商品、悪質商法、有害物質や不法投棄による環境汚染など生命・健康等の危害に関わる正しい情報を迅速かつわかりやすく提供するとともに、悪質事業者等の監視・指導、取り締まりの充実強化、相談体制の整備や健康危機に的確に対応できる体制整備を図る。

〈主な施策例〉

- 新型インフルエンザ対策の推進
- 食の安全・安心の確保
- 生活環境の安全・安心の確保
- 消費者被害の防止・救済

基本戦略Ⅱ 将来を担う人づくり

1 学校・家庭・地域の連携による教育推進プログラム

<概要>

子どもたちの生活習慣や学習習慣等の改善、学習環境の充実、教員の指導力の向上を図り、基礎学力の定着と才能のさらなる伸長を目指す。また、すべての子ども・若者の健やかな成長や能力の発揮と自立に向けた支援、困難を抱える子ども・若者が社会生活を円滑に営むための取組等を進め、地域・社会全体で子ども・若者を見守り、育てる環境づくりを進める。

<主な施策例>

- 学力向上策の充実
- 特別支援教育の推進
- 青少年の社会参加の促進
- 子ども・若者の育成支援の推進

2 世界にはばたけ！グローバル人材育成・誘致プログラム

<概要>

小学生から大学生に至るまで、英語に触れる機会を増やすとともに、英語教育を充実させて英語力の向上を図る。また、県内の大学や企業等と連携して国際感覚やコミュニケーション能力の養成などによる世界で活躍できる人材を育成するとともに、留学生なども対象に県内企業のグローバル戦略をサポートできる人材の育成・誘致を進める。

<主な施策例>

- 英語学習先進県の形成
- 世界で活躍できるビジネスパーソンの育成
- 留学生と日本人学生が鍛え合う岡山の形成

3 支え合いの心あふれる社会実現プログラム

<概要>

男女が対等な社会の構成員として、さまざまな社会活動に参画する男女共同参画社会の形成を進める。また、県民の人権意識の高揚を図りながら、人権尊重の視点に立ち誰もが互いを尊重する行政施策の推進に努めるとともに、道德教育等の充実やいじめ・不登校問題への対応などを進め、すべての人々が社会の一員として互いに尊重し、モラルを持って支え合いながら生活する社会の実現を目指す。

<主な施策例>

- 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革
- 人権啓発・教育のリーダーの養成

4 地域を支えリードする担い手育成プログラム

<概要>

医療、福祉、産業、地域活性化などさまざまな分野において、協働の担い手となるボランティアやNPO等の活動を支援するとともに、年齢、性別、国籍を問わず、地域を支えリードする多彩な人材の育成・誘致を進める。

<主な施策例>

- 新しい公共の担い手*との協働の推進
- 災害救援専門ボランティアの育成等
- 地域産業を担う人づくり

※新しい公共の担い手：地域の諸課題の解決のための活動に自発的・主体的に参加する市民、NPO、企業等で行政と共に公を支えていくもの

基本戦略Ⅲ 発展につながる産業づくり

1 アジアへ！世界へ！産業グローバル戦略推進プログラム

<概要>

アジアをターゲットに、企業の海外進出や販路開拓を支援するとともに、岡山の観光や農業を戦略的にアピールすることにより、誘客や農産物輸出を促進し、併せて空路利用の大幅な増加による航空ネットワークの拡充を図る。また、企業間連携の強化や操業環境改善への支援、国際バルク戦略港湾である水島港の整備等を通じて、水島コンビナートの国際競争力強化を図る。

<主な施策例>

- 東アジア総合プロモーション
- 新たな西日本ゴールデンルートの売り込み
- 航空ネットワークの拡充と空港機能の強化
- 水島コンビナートの国際競争力強化
- 水島港の機能強化

2 ものづくり産業イノベーション推進プログラム

<概要>

ものづくり重点4分野（超精密生産技術、バイオ、医療・福祉・健康、環境）を中心とした産業クラスターの形成を目指すとともに、グリーンイノベーションを支える基盤となる高機能・高付加価値製品の開発や、これからの成長が見込まれる次世代自動車・電池関連産業分野の研究開発を支援し、革新的な新製品・新技術の開発を進める。

<主な施策例>

- 次世代自動車産業クラスターの形成
- マイクロものづくり産業クラスターの形成
- グリーンバイオプロジェクトの推進

3 成長につながる企業の誘致・集積プログラム

〈概要〉

充実した広域交通網や、自然災害が少ないなど安全性や安定性の高い操業環境をセールスポイントに、今後成長が期待できる新エネルギー関連、次世代自動車、航空機関連分野の企業の生産拠点や研究開発部門を主なターゲットとする誘致活動を展開するとともに、企業のリスク分散の動きを捉えた誘致にも積極的に取り組む。

〈主な施策例〉

- 国内有数の安全で安定性の高い操業拠点の形成
- 西日本の航空機産業拠点の構築
- メガソーラー等の誘致
- 三海二山を結ぶ広域交通網等の整備

4 地域産業パワーアップ・新ビジネス育成プログラム

〈概要〉

地域の商工団体・農林水産団体やNPO等さまざまな主体と連携し、中小企業等の経営革新や販路開拓による経営安定、魅力ある新商品づくり等を促進するとともに、地域力を生かしたソーシャルビジネスのサポートや新たなサービス産業の育成、情報ハイウェイの高機能化等を通じて、地域における産業振興、経済の活性化を図り、雇用の確保を目指す。

〈主な施策例〉

- 新分野・新事業に挑戦する元気な中小企業の育成
- 地域に根ざした産業の「独自の強み」づくり
- 地域力を生かしたソーシャルビジネスの育成

5 「おもてなし岡山」魅力発信・誘客プログラム

<概要>

豊かな自然、歴史遺産や伝統文化など本県が持つ魅力の発掘と磨き上げを行いながら地域発観光を推進するとともに、地域や近県との連携を一層強化しながらテーマやストーリー性を持つ周遊型・滞在型観光ルートの開発等に取り組み、また岡山を訪れることで得られる感動を効果的に広く情報発信し、観光客の誘致を図る。

<主な施策例>

- 地域の魅力を再発見し全国に発信する「地域発観光」
- 他県と連携し新たな魅力をPRする「広域観光」

6 ^{もう}儲かる産業に！攻めの農林水産業育成プログラム

<概要>

水田農業の確立や次世代フルーツによる「くだもの王国おかやま」の基盤強化を図るとともに、大規模経営体の育成に努めながら、多彩な農林水産物の輸出促進、新たな担い手である企業参入も進め、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指す。

<主な施策例>

- 次世代フルーツの生産拡大
- 「力強い」担い手の育成
- 「おかやまヒノキ」の需要拡大と魅力ある林業の実現
- 中山間地域農業の再生

基本戦略Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり

1 文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム

<概要>

芸術・文化、スポーツ、生涯学習等に親しむ機会の増大やメニューの充実、ゆとりの創出等を通じて、県民が自らの嗜好に応じてこれらを楽しむ暮らしを創造し、その普及を図るとともに、地域の活力向上にも結びつけていく。

<主な施策例>

- 「文化がまちにある」プロジェクトの推進
- 未来へつなぐ おかやま文化の担い手育成・支援
- 未来へはばたくアスリートの育成・支援
- スポーツで創る 元気コミュニティ
- トップクラブチームによるおかやまの元気・感動の創出

2 地球と人にやさしい岡山流スマートライフ発信プログラム

<概要>

東日本大震災後のエネルギーに対する意識の変化も踏まえ、新エネルギーの活用をはじめ、省エネ・省資源やリサイクルなど地球環境に負荷が少なく、持続可能な地域社会の構築につながる新たなライフスタイルを全国に先駆けて創造し、県内外に発信する。

<主な施策例>

- 新エネルギーを活用したスマートタウンの構築
- エコ&省エネ重視のライフスタイルへの転換
- 新エネルギーの地産拡大戦略の推進
- 電気自動車の普及促進

3 未来につなぐ！自然と景観の保全プログラム

<概要>

世界に誇る美しい瀬戸内海や緑あふれる森林、心癒される清流等の恵まれた自然や、農山漁村の風景、地域の歴史と伝統が生かされた優れた景観を、次世代も引き続き楽しめるよう保全するとともに、これらも活用しながら、個性ある美しい地域づくりを進める。

<主な施策例>

- 生物多様性おかやま戦略の推進
- 森の恵み・楽しみの森づくりの推進
- 農村景観保全の推進

4 誰もがいきいき働き活躍できる社会実現プログラム

<概要>

誰もが適性や能力に応じていきいきと働き、社会の中で活躍していくため、就業しやすい環境づくりを進めるとともに、きめ細かい職業相談や就職面接会の開催など積極的に就職支援に取り組み、県民の豊かな生活の実現を図る。

<主な施策例>

- 新規学卒者をはじめとする若者の就職支援
- 障害のある人の就職支援
- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◇中四国州推進プロジェクトの概要

地方分権改革の大きな流れの中、道州制の導入及び中四国州の実現を目指し、気運の醸成を図り、中四国の連携を一層強化するとともに、東日本大震災を踏まえた広域防災・救援拠点機能の強化や水島港の整備などを通じて、中四国における本県の拠点性を高める。

◇基本戦略横断プロジェクトの概要

1 元気！輝く中山間地域活性化プロジェクト

<概 要>

地域の伝統・文化など幅広い資源を生かした自立的な地域づくりを進めるとともに、市町村やNPO等と連携し、中山間地域の活性化に向けた取組のすそ野の拡大を図りながら、地域が行う集落機能維持・強化の取組の支援や交流・定住の促進等による人々が集う地域づくりを進める。

<主な施策例>

- 地域資源を生かした主体的・自立的な地域づくりの促進
- 中山間地域の安全で円滑な交通を確保する道づくり
- 中山間地域農業の再生（再掲）
- 地域の活性化に向けた住民参加による取組の全県的拡大
- 公共交通の確保

2 「晴れの国」発！新エネルギー拡大プロジェクト

<概要>

エネルギー政策の在り方が大きく変わる中、全国に先駆けて策定した「おokayama新エネルギービジョン」を基本に、特に「晴れの国」の特長を生かした、メガソーラーの誘致など太陽光発電の普及を進めるとともに、地域分散型でのエネルギーセキュリティ確保の視点も踏まえ、地域産業の振興にも結びつく新エネルギーの地産拡大に取り組む。

<主な施策例>

- 「晴れの国」全県まるごとソーラー発電所構想の推進
- メガソーラー等の誘致（再掲）
- 新エネルギーの地産拡大戦略の推進（再掲）
- 電気自動車の普及促進（再掲）

3 胸を張ってPR！岡山まるごと情報発信プロジェクト

<概要>

岡山の魅力を発信し、知名度を上げることは、観光誘客や企業誘致に効果があるだけでなく、県内企業等の活動を後押しすることにもつながることから、県の情報発信力や総合的セールス力の強化と、県民が岡山の素晴らしさを再認識し愛着と誇りを持って情報発信していく取組の支援等を内容とする総合的な情報発信戦略を展開する。

<主な施策例>

- 県の情報発信力の強化
- 県民による郷土への愛着と誇りの発信

第4章 プランの進め方

1 対話の県政・開かれた県政の推進

プランの推進に当たっては、県民との協働を基調とし、積極的な情報提供に努め、対話の県政、開かれた県政の推進に努める。

2 スピーディーに考え行動する真の政策県庁

部局横断型の政策推進を図るとともに、県民のニーズに敏感であり、政策形成能力と行動力を持った職員の育成を図る。

3 政策評価等によるPDCAサイクルの確立

政策評価の成果や社会情勢の変化等を踏まえ、真に必要な施策や事業を重点化し、政策に的確に反映するためのPDCAサイクルを確立する。